## 名城公園遺跡発掘調査通信

## 第2号 遺跡の全景撮影を行いました

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター 前田建設工業株式会社

名城公園遺跡での発掘調査は、調査区の南端から開始して、はや2か月が過ぎました。3月25日には第1回目のラジコンへりによる全景撮影を行いました。今回は、江戸時代の下御深井御庭関連の遺構(溝や池)を中心とする調査区南部の遺構面を主な撮影対象としています。池の遺構からは瓦や石灯籠といった庭園に使われたとみられる遺物や、庭の一角にあったと考えられている都深井焼の窯道具(匣鉢・輪ドチなど)が出土しています。またそれとともに御深井焼と思われる陶器類も出土しており、下御深井御庭の実態が少しずつわかってきました。

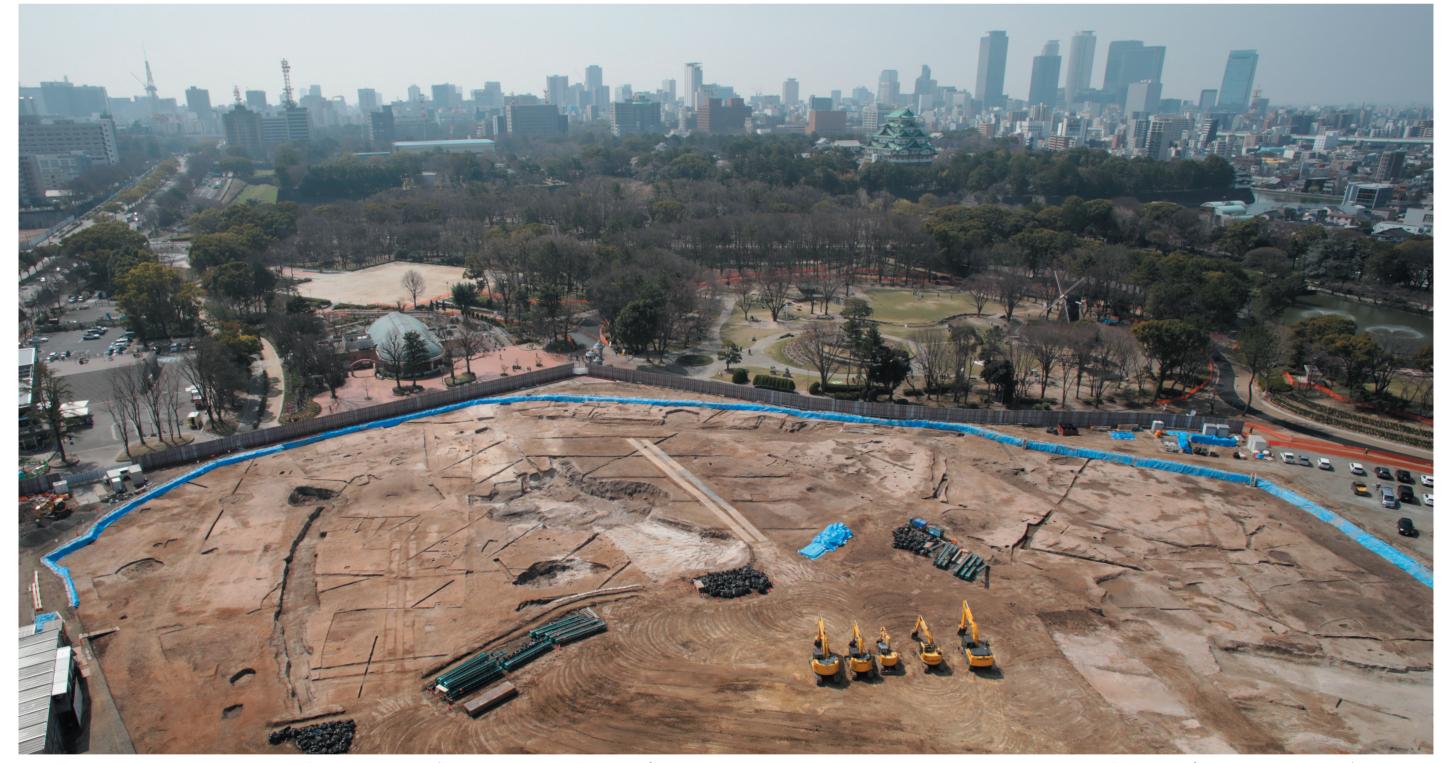


写真1 北からみた遺跡全景(左端の大津通が、名古屋城のある熱田台地へ上る様子がわかります)





写真 2 御深井焼関連の遺物出土 状況 (21Ba 区)

写真3 21Aa 区の池状遺構の石 灯籠出土状況

※『名城公園遺跡発掘調査通信』は、 愛知県埋蔵文化財センターのホームページ (http://www.maibun.com) から PDF 版 をダウンロードすることができます。